



とっどりの食育

県内では、数多くの団体が様々な視点で食育活動に自主的に取り組んでいます。地域の特性を活かし意欲的に取り組まれている活動を表彰しましたので紹介します。



「地域活性と命を無駄にしない食育の挑戦」
湯梨浜学園中学校・高等学校



「かるたを通じた食育活動」
鳥取市食育推進委員会



鳥取県のこれからの食育で



大切にしたい2つの基本方針

方針1

豊かな人間性を育む食育 ～「生産・料理・共食」の実践～

毎日の食事は、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となります。

五感すべてを使う栽培、収穫、料理などの体験は、自分の手で成し遂げる喜びを積み重ねることで「生きる力」の基礎を育むことや、食べることは命を受け継ぐことであると実感すること、「食」や「食」を支えるすべての人、自然の恩恵に対する感謝の心や生産から消費までの「食」の循環を理解し環境に配慮する心を養うことができます。

方針2

食パラダイス鳥取県を 活かした食育

鳥取県は、豊かな大自然と四季折々の気候風土に恵まれていて、都市部に比べて農林水産業の現場と消費者との距離が近く、食を学び体験する環境に恵まれています。

鳥取県ならではの利点を活かし、食農教育や生産者と消費者の交流等に取り組むことで、食とそれを支える農林水産業の関わりについて理解を深めることができます。

地域活性と命を無駄にしない食育の挑戦

湯梨浜学園中学校・高等学校

所在地 東伯郡湯梨浜町田畑 32-1

連絡先 0858-48-6810



シカの状態を確認



ジビエ料理に挑戦



イノシシの皮なめし

活動の概要

中高6年間を通じて、食の循環や環境保全、地域活性を意識した教育活動を行っている。地域の里山に入って自然環境や鳥獣による農作物被害を体感するとともに、イノシシやシカを解体しジビエ料理に挑戦するなど、命や食の大切さを学ぶ研究を行っている。

工夫したこと

子どもたち自らが身近な地域の自然環境や食の循環を体験することで、命や鳥取県を支える農業の尊さを考える機会を創出している。

若い世代の子どもたちと地域の方々との交流により地域をにぎやかにし、関係者と連携しながら自然豊かな鳥取県の里山や食文化の継承に取り組んでいる。

活動の成果

管理している区域での有害鳥獣が前年比で減少しており、地元の方々からも目撃例や農作物の被害が減ったとの声をいただいている。

活動を通じて、生徒たちの自然や動物、農業、食の分野への興味関心が高まっており、自分たちの取り組みに喜びを感じている。



- ・鳥獣被害、農業、地域の現状や背景にアプローチし、食や命の循環を体験できる活動である。
- ・ユニークな活動で独自性が高い。

かるたを通じた食育活動

鳥取市食育推進委員会 所在地 鳥取市富安2丁目138-4 鳥取市役所駅南庁舎 健康づくり推進課 食育推進係(事務局)
連絡先 0857-30-8582



地域の子どもたちのかるたとり



鳥取市イベント「鳥取市民健康ひろば」でのかるたとり体験コーナー



会員考案の「食育と減塩かるた」

活動の概要

コロナ禍の活動自粛を余儀なくされる中で、「従来の活動に戻るまでできる活動を考えてみよう」と奮起し、市の健康課題である高血圧に重点をおいた「食育と減塩かるた」を考案。地域事業の様々な機会に「かるたとり」を取り入れており、子どもから高齢者まで幅広い世代の食への関心を高めることにつながっている。

工夫したこと

読み札・絵札ともに、わかりやすく印象に残る言葉や絵になるように心掛け、何度も協議を重ねて作成した。

幅広く活用していただくために、保育園や小学校、地区公民館や地域食堂等に各地域の会員が直接出向き、かるたの趣旨を説明しながら配布した。

活動の成果

公民館事業や子ども会等でかるたとりをする、参加者から「チーズやパンにも塩が入るとるだか?」「じゃあ今晚は昆布かつお節でだしをとってみるかな。」との声が聞かれ、日頃の食生活の振り返りや知識の習得につながっていると感じる。

かるたとりは幼児や児童には新鮮に、高齢者には懐かしさを感じてもらいながら、食育を考える機会につながっていると感じる。



- ・コロナ禍で活動が制限される中で新たな手法を見出し、その後も取り組みを広げて継続している。
- ・子どもから高齢者まで、幅広く楽しみながら食に関する知識を習得することができる。

食を通じて健やかに「生きる力」を育むために

鳥取県食育推進計画（第4次）より

鳥取県では、「『生産・料理・共食』を実践し、食を通じて『生きる力』を育み、心身ともに充実した生活を実現すること」を県民の目指す姿とし、食育を推進していくこととしています。

食育を総合的かつ計画的に推進するため、県の関係組織が連携・協力しながら取り組むとともに、家庭（県民）、保育所・幼稚園、学校、生産者団体、食品事業者、地域の団体、市町村等、関係機関とともに鳥取県のこれからの食育を推進していきます。

食を通じて健やかに「生きる力」を育み、心身ともに充実した生活を実現する

基本
方針

- 豊かな人間性を育む食育～「生産・料理・共食」の実践～
- 食パラダイス鳥取県を活かした食育

県民みんなで実践する5つの重点目標と14の目標

重点目標

ライフステージに
応じた健全な
食習慣を実践する

食に対する
感謝の心を養う

食の循環や環境
を意識した活動
を実践する

豊かな食文化を
継承する

食に関する情報を
適切に活用する

目標

家庭や地域で家族や友人と楽しく食卓を囲む

主食・主菜・副菜を揃え健康に配慮した食事をする

1日3食、規則正しくよくかんで食事をする

食農教育等を通して
食とそれを支える農林水産業の関わりを理解する

食事づくりや準備に関わる

食事のあいさつを実践する

環境等に配慮した農林水産物・食品を選ぶ

食べきり運動等により食品ロスの削減を行う

地元のおいしい食材の良さを学び活用する

地域の郷土料理を学び、継承する

とっとり食を情報発信する

食の安全や栄養について正しく理解し活用する

食品表示を参考に食品を選択する

※ローリングストックの理解と活用により災害時の食に備える

※「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考慮して古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法。

鳥取県食育推進計画やこれまで知事表彰を受賞した活動を取りネットで紹介しています。

(<https://www.pref.tottori.lg.jp/shokuiku/>)



発行 鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課 TEL0857-26-7202